

新聞読み夢の実現を

袋井 静岡理工科大で講座



「新聞を読む」の講座で興味を持った記事を黒板に書き込む学生
袋井市豊沢の静岡理工科大で

「教育に新聞を」
袋井市豊沢の静岡理工科大のキャリア開発講座「新聞を読む」が七日、同大で開かれた。二年生約三百人が、夢を実現するための情報収集や、やりたいうことを探すときに新聞が役立つことなどを学んだ。

中日新聞東海本社の

池田実経済部長ら二人が講師を務めた。池田部長らは「大学二年生は将来を考えられる時間がある。さまざまなニュースが網羅的に掲載されている新聞を考える材料として活用してほしい」と指摘。起床後に全部は読まなくてもパラパラと斜め読みする「朝パラ」を提案した。その上で学生らは、十五年後の自分の理想像を描き、実現に向け、今どういった情報を収集しなければならぬかをそれぞれ記述。中日新聞を読んで関心を持った記事などを抜き出して発表した。